

北信教育事務所だより

令和7年3月7日

第8号(最終号)

～子どもに発し、子どもに還る
学校づくり・授業づくり～

～学びによる
「人 つながり 地域」づくり～

3月を迎え、各校では、まとめと進級、そして巣立ちの時期を迎えていることと思います。

みなさまに1年間にわたりお読みいただいた、この「北信教育事務所だより」も本号をもちまして、今年度最終号となります。

本号では、北信教育事務所長をはじめ各課から1年間の御礼と、次年度の予定等についてお伝えします。



「つまり、こういうことなんじゃない？」
中野市立日野小学校6年生 算数「円の面積」の学習

「令和6年度を振り返って」

北信教育事務所長 久保 友二

今年度もできるだけ学校現場での学びの状況を把握したいと思い、主幹指導主事の学校訪問や授業公開に合わせて多くの小・中学校を訪問し、授業参観や先生方と意見交換させていただきました。また、学校以外の学びの場であるフリースクール等にも訪問して、子どもたちの活動の参観や運営者との意見交換をさせていただきました。学校等へ訪問を通じて感じることは、個々の学力や興味関心、不登校傾向や発達特性、母語など、実に多様な子どもたちがいるということ。そして、多様な子どもたちの学びを保障する多様な教育活動が広がりつつあるということです。

学校内では、多様な児童生徒に合わせて、特別支援学級や通教指導教室、サポートルーム、日本語教室等、多様な学び場、居場所が拡充しています。一方、不登校傾向の子どもたちを受け入れるフリースクール等では、子どもたちが目を輝かせて自分のやりたい活動に没頭する姿にも出会いました。授業改革面に目を向けますと、ある中学校で参観した理科の授業では、単元内自由進度学習を取り入れ、生徒が一つの単元やその時の1時間を自分で調整して学んだり、級友と意見を交わしたりする姿が見られました。

さて、長野県では昨年7月に、「信州学び円卓会議」からのメッセージを受けて、阿部知事と武田教育長が長野県の学び・教育改革の方向性について決意表明したところです。この方向性に沿って小・中学校教育分野では、「ウェルビーイング実践校 TOCO-TON」や「学びの改革リーディング校」，「遠隔教育推進校」を指定し、市町村教育委員会や指定校の皆さんの学校改革の取組を伴走支援することにしています。教育事務所も、令和7年度から現在の学校教育課と生涯学習課を統合して「学びの共創課」を設置し、地域とともに進める学校改革の取組支援を充実してまいります。1年間ありがとうございました。



「一日一日を大切に」

学校教育課長 塚田 智紀

～誰もが教員生活の中で苦しい思いをして、それを乗り越えてきたことを学んだ。イチローの『一日一日を大切に』は、とても身に染みた。卒業まで子どもたちと楽しく過ごし、子どもにとって誇りに思える教師になりたい。～

これは、初任者研修の中で、私自身の若い頃からの教員経験と日米の野球殿堂入りを果たしたイチローさんの野球に対する心構えを紹介した際に、初任者が感想として書いてくれたことです。私自身の経験はさておき、イチローさんは、若い頃から「夢を掴むことは一気には出来ない。小さなことを積み重ねることで、いつの日か信じられないような力を出せるようになっていく。『一日一日を大切に』して、その違いを意識することが上達につながる。」と言っています。

このことは、「子どもに発し、子どもに還る授業づくり・学校づくり」にも通じると考えます。確かな願いをもち、その実現に向け、できることやすべきことを丁寧に積み重ねることが、子どもたちの豊かな学びにつながります。今年度のお礼をお伝えすると共に、来年度も皆さんの願いの実現に向けて、更に尽力していきます。1年間ありがとうございました。

「つながり」

生涯学習課長 中澤 俊喜

前任の小学校でのエピソードです。

4月、毎朝お母さんと泣きながらがんばって歩いて来る1年生のAさん。お母さんに励ましてもらいがんばろうとしますが涙が止まりません。お母さんがぎゅっと抱きしめてくれ、がんばろうと決めたのでしょうか。靴を履き替えました。しかし、やはり涙が止まりません。もう一度、お母さんにぎゅっとしてもらい、見守っていた担任の先生とクラスの友だちと教室の方へ向かっていきました。

あれから1年。Aさんは毎朝友だちと楽しそうにやります。4月のAさんはまわりにお母さんとお父さんしかいないと感じていたかもしれません。今は一緒に歩いてくる友だちがいます。教室に友だちがいます。担任の先生がいます。通学路で毎朝声をかけてくれる見守り隊のBさんがいます。途中で撫でてくる猫がいます。つながりが増えることで、Aさんには楽しい世界が広がってきたに違いありません。つながることで広がる世界、楽しみを誰もが感じ、味わえる。そんなつながりを作っていけたら素敵ですね。1年間ありがとうございました。

令和6年度学校訪問支援を振り返って

本年度も、多くの学校訪問支援の要請をいただき、ありがとうございました。

【単元訪問等】<先生方からいただいた感想や振り返りの言葉>

授業づくりに悩んでいましたが、学習問題の設定の仕方やまとめと振り返りの違い、生徒の反応の活かし方等、授業の組み立て方を改めて学ぶことができました。明日からの授業に活かしながら、全校に広げ、授業改善につなげていきたいです。

「子供の中から問いが生まれる授業」を目指したいという私の願いが明確になりました。その実現に向けて「学習問題」「既習事項」「仲間の意見」の3つの視点から子供の中に生まれる「ズレ」を大切に、子供主体の授業づくりをしていきたいです。

多くの先生方が、日々の授業をよりよいものにしたいという願いをもち、授業をされています。本年度も、子供の「資質・能力」を育むために、実態を的確に捉え、子供の「なぜ」「やってみたい」からはじまる単元・授業づくりを進めるたくさんの先生に伴走することができました。

【ゾーン訪問】<全職員での研修の場で先生方が語られた感想や振り返りの言葉>

研修では、子供が自ら動く授業にするためにはどうしたらよいのかを、子供の具体的な姿を通して考え合うことができました。全職員が同じ思いで授業づくりをしていけるよう、研究主任として発信の方法を改めて考える機会になりました。

子供の見取り方や、「私が見取った子供の姿」を基に同僚と語り合うことの大切さを学びました。演習では、事例を基に自分の捉えを伝え合うことで「子供に寄り添う」ことについて職員一人一人が日々の姿を振り返り、考えることができました。研修を機に、さらに子供理解を深め、安心のある学習環境づくりを進めたいと思います。

各校で、研究主任の先生を中心として、学校のグランドデザインや研究テーマの実現に向けた様な取組が進んでいます。ゾーン訪問では、そのような取組について先生方と学び合ったり、今後の見通しをもったりするなど、各学校のニーズに寄り添う関わりをすることができました。

これからも、すべての子供に「生きる力」を育む学びの充実のために、校内で共に学び合う機会を大切にしていきたいと思います。



令和7年度学校訪問支援について

学校訪問支援の方法や内容が変わります！



各学校が教育課題として捉えていることに対して、その解決を目指していくために、教科等の枠を超え、学校全体での改革の取組に指導主事・専門主事がより深く関わっていけるよう、以下の4つの訪問形態で支援してまいります。

学校改革支援訪問

学校が目指すビジョンに合わせて、A～Gの「学校改革支援メニュー」から選択し、訪問要請をしていただきます。

A 教科等における「探究の学び」充実

「習得・活用・探究」のプロセスを明確にしたり、児童生徒の実態に合わせて「問い」を設定したりするなど、教科等の内容を踏まえた「探究の学び」の実現を、単元づくりを通して支援します。

B 個別最適・協働の充実

一人ひとりに合った教材をつくったり、単元の場面ごとに個別の学習と協働の学習を位置付けたりするなど、児童生徒が自ら学習を調整、最適化する学びの実現に向けて支援します。

C ICT活用充実

話し合いや振り返りなど、どの場面でも使える汎用的な活用から、プレゼンテーションやグラフの作成などの教科等の特質に応じた専門的な活用まで、各校のニーズに応じて支援します。

D 円滑な幼保小中接続

各地域で目指す子供の姿をもとに、それぞれの発達段階での育ちの姿をとらえ、園から小学校へ、小学校から中学校へと、子供の育ちを真ん中にした授業づくりについて支援します。

E 地域との連携充実

コミュニティスクールの充実や地域人材の授業での登用など、授業づくりを通して地域の方々と学校とをつなぐと共に、県内の好事例をもとに連携の方向性が明確になるよう支援します。

F インクルーシブな教育の促進

授業のユニバーサルデザイン化や、授業における合理的配慮などに学校全体で取り組むことができるように、校内支援体制の充実を目指して支援します。

G その他の学校改革

上記のメニューに合致しない場合には、こちらのメニューで要請ください。

※年間を通して3回の訪問を原則とします。教科等の枠を超えて、担当指導主事が訪問します。

初任者等支援訪問

授業のイロハから学級経営で大切にしたいことまで、先生方の希望に応じて支援します。



対象となる先生

新規採用者、指定研修対象者、臨時的任用者、一人教科担当者等

支援内容

- 授業づくりの基礎基本
- 学級経営で大切にしたいこと
- 一人教科で頑張る先生方をつなぐ

※ご希望の教科等ごとに要請していただきます。年間を通して1回の訪問を原則とします。

オンライン相談支援

いつでも、気軽に、何度でも。
手続きを簡素化し、先生方の声に迅速にお応えします。

支援内容

単元構想、授業づくりなど、先生方の悩みや疑問を指導主事・専門主事がオンラインでサポートします。

※4月より、通年申し込み可能です。

指定研究訪問

対外的な公開授業に向けた単元づくりや事前の授業研究会、公開日当日の研究会運営を支援します。

支援内容

公開授業を通して学ぶ先生をサポートします。
ご希望の教科等に応じて指導主事・専門主事が支援します。

令和7年度も、我々指導主事は共に授業や学校をつくる伴走者として、「学びの改革」に挑戦する先生方を全力で支援します。子供のために、共に取り組んでいきましょう。

学校教育関係 令和7年度の主な事務所研修等の予定

1 令和7年度 初任者研修等の日程（北信地区（長野市以外）の初任者対象）

① 令和7年度採用初任者1年次研修（校外研修16日間） ※名称・期日・会場は変更することがあります

No.	期 日	研 修	会 場
1	4月15日(火)	初任研スタート研修	長野県総合教育センター
2	5月13日(火)	授業力向上研修Ⅰ (長野市と合同開催)	小学校 特支小学部担当 長野市立城山小学校
	5月20日(火)		中学校 特支中高等部担当 長野市立長野中学校
3	6月3日(火)	教師力向上研修Ⅰ (含 ICT活用指導力向上研修Ⅰ)	オンライン（在勤校）
4	6月24日(火)	教師力向上研修Ⅱ (キャリアアップ研修Ⅰとの合同開催)	長野合同庁舎
5	7月28日(月) ～8月1日(金)	夏期研修（2日）	オンライン 長野県総合教育センター
6	10月21日(火)	教師力向上研修Ⅲ	長野合同庁舎
7	1月13日(火)	1年次プログレス研修	長野合同庁舎
8	6月～2月	授業力向上研修Ⅱ（1日）	各所属校
【その他】 ・市町村教育委員会研修（2日） ・他校体験研修（1日） ・総合教育センター選択研修（2日） ・選択研修Ⅰ（1日） 《令和7年度の変更点》 ・必修研修：県教育委員会作成学習指導要領の趣旨の実現にかかる動画の視聴及び、NITS動画教材「新学習指導要領シリーズ」を2本以上視聴（1日） ※在勤郡市内で教育課程研究協議会に代わる研修会が開催される場合は、その参加をもって代替可			

② 2年次研修（令和6年度採用）（校外研修5日間）

No.	期 日	研 修	会 場
1	5月8日(木)	2年次全体研修 (含 ICT活用指導力向上研修Ⅱ)	オンライン（在勤校）
2	1月15日(木)	2年次プログレス研修	長野合同庁舎
【その他】 異校種体験研修（1日） 総合教育センター選択研修（1日） 選択研修Ⅱ（1日）			

③ 研修コーディネーター等の連絡会及び研修会 *研修コーディネーター等の出席をお願いします

No.	期 日	研 修	会 場
1	4月16日(水)	研修コーディネーター等連絡会	長野合同庁舎
2	7月9日(水)	研修コーディネーター等研修会	長野合同庁舎

④ 初任研関係学校長等連絡協議会 *次年度の初任研対象教員配置校の学校長の出席をお願いします

No.	期 日	研 修	会 場
1	2月12日(木)	初任研関係学校長等連絡協議会	長野合同庁舎

⑤ 特別支援学校所属初任者のための専門研修

No.	期 日	研 修	会 場
1	5月27日(火)	専門研修A	会場校
2	8月20日(水)	専門研修B	オンライン
3	2月3日(火)	専門研修C	会場校

⑥ キャリアアップ研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（北信地区の対象者に該当する研修日）

	校種等	期 日	研 修	会 場
Ⅰ	小・中・義務教育 学校教諭	5月29日(木)	全体研修B（北信・東信・中信）	長野県総合教育センター 長野合同庁舎 オンライン
		6月24日(火)	教師力向上研修Ⅳ	
		1月30日(金)	課題研究研修B【北信・中信】	
	特別支援 学校教諭	5月26日(月)	全体研修A（幼稚・小学）	長野県総合教育センター 長野県総合教育センター 長野県総合教育センター オンライン
		5月29日(木)	全体研修B（幼稚・小学以外）	
		年間1日	教師力向上研修Ⅳ	
		1月29日(木)	課題研究研修	

II	小・中・義務教育学校教諭	5月16日(金) 6月16日(月) 6月17日(火)	全体研修B(北信・中信) 生徒指導力充実研修(小学校) 生徒指導力充実研修(中学校)	長野県総合教育センター 長野県総合教育センター 長野県総合教育センター
	特別支援学校教諭	5月15日(木) 5月16日(金) 6月16日(月) 6月17日(火) 8月20日(水) 1月30日(金)	特別支援教育研修A(幼稚・小学) 特別支援教育研修A(幼稚・小学以外) 生徒指導力充実研修(幼稚・小学以外) 生徒指導力充実研修(幼稚・小学) 特別支援教育研修B 特別支援教育研修C	長野県総合教育センター 長野県総合教育センター 長野県総合教育センター 長野県総合教育センター オンライン 長野県総合教育センター
III	小・中・義務教育学校教諭	10月21日(火)	校外研修A(北信・南信)	長野県総合教育センター

2 令和7年度 各種研修会等の日程

	研修会	対象者	期日	会場
学力向上	研究主任研修会 ※第1回は、長野市教委主催の研修会と日が近いので、長野市の学校からの参加希望は募りません。	研究主任を中心に、学力向上担当、ミドルリーダー等、校内の研究や研修にかかわる教員(希望する学校)	4月22日(火) 9月16日(火) 12月16日(火)	長野合同庁舎
	日々の授業改善研修 ※各回、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、栄養職員対象の講座も開設予定	臨時的任用教員、初任3年目までの教諭、育児休業明けの教諭等を中心とする、研修を希望する全ての教員	4月30日(水) 7月7日(月) 10月6日(月) 12月15日(月)	長野合同庁舎
	(仮)TOCO-TON ワクワクフォーラム	全ての教員(希望者)	1月23日(金)	長野県総合教育センター
	学びの改革ミニフォーラム①	全ての教員(希望者)	4月30日(水)	オンライン
	学びの改革ミニフォーラム②	全ての教員(希望者)	未定	オンライン
生徒指導	教育相談関係者連絡会議(県SC事業説明会)	スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー 中学校担当者	4月16日(水)	長野合同庁舎 参集(長野合同庁舎) またはオンライン
	いじめ・不登校地域支援事業 北信地区推進会議	北信地区いじめ・不登校支援関係者	5月20日(火)または 21日(水)のいずれか 10月10日(金)	長野合同庁舎
	SC・SSW 北信地区合同研修会	スクールカウンセラー スクールソーシャルワーカー	9月10日(水)	長野合同庁舎
	高校進学説明会①②	中学校 生徒、保護者、教職員	10月30日(木) 10月31日(金)	長野合同庁舎
	学校人権教育研修・連絡協議会(北信地区)	人権教育主任	春期 5月16日(金) 秋期 9～11月	あんずホール 地区毎に開催
道徳・人権	道徳教育 パワーアップ研究協議会	道徳教育推進教師等	8月7日(木)	オンライン
外国語活動・外国人児童生徒等指導	外国人児童生徒等指導研修会	日本語指導教員(悉皆)、及び外国籍児童生徒の指導にかかわる教員、支援員、巡回指導員等	第1回 5月22日(木) 第2回 11月18日(火)	長野合同庁舎 長野市内 小・中学校
外国語活動・外国人児童生徒等指導	小学校英語専科教員研修	小学校英語専科教員(悉皆)、すべての教員(希望者)	5月1日(木)	オンライン
	海外留学疑似体験	中学生(希望者・松本発着)	8月6日(水)	県外
幼年教育	長野県幼年教育教育課程研究協議会	全ての教員(希望者)	令和7年度は、東信地区で開催	
育休復帰	育児休業明けの復帰・ペーパーティーチャーのための研修	育児休業明け復帰予定者 ペーパーティーチャー	3月3日(火)	長野合同庁舎

生涯学習課の取組の成果と課題

社会教育

「地域とともにある学校づくり」、「学校を核とした地域づくり」の推進に向けて、各種研修会を開催しました。先生方・地域住民のみなさん・市町村担当者・保護者のみなさん等、多くの方々にご参加いただき、学校・家庭・地域が連携・協働して子育てや地域づくりにかかわる大切さ、よさについて具体的な実践をもとにして、学び合うことができました。

今後も、学校・家庭・地域の連携・協働により、これまで以上にコミュニティスクール等の取組が充実したものとなるよう、関係者間のつながりの構築、様々な立場の方との意見交換、参加者同士の関わりを大切に場づくり等を課題として、よりよい機会を提供できるよう取り組みます。



スポーツ振興

スポーツ指導者や先生方を対象に、2回の「わくわくスポーツセミナー」を開催しました。1回目は障がいの有無にかかわらず、誰もが一緒にスポーツを楽しむことができる環境の充実を目指して“アダプテッド・スポーツ”の理解や実践について学ぶことができました。

2回目は、幼少期の運動遊びをテーマに、子どもたちの“体”を動かすためには“心”を動かし、思わず動きたくなるようにすることが大切であるということ、講義や実技講習を通して学ぶことができました。

今後もスポーツを通じた共生社会の実現に向けて、年齢・性別・障がいの有無に関わらず、全ての人にスポーツ・運動の楽しさを伝えることのできる指導者を育成する場を提供していきます。



社会人権教育

人権教育推進のために、地域の人権教育に携わる方や学校職員の方を対象とした研修会を開催しました。「人権教育実践力スキルアップ講座」では「同和問題」について地域の方や学校職員、行政担当者が共に学び合い、今後の実践に向けた思いを共有することができました。「北信地区社会人権教育研修会」では、「外国人の人権」をはじめ様々な人権課題についての理解と認識を深め、自身の人権感覚を見つめ直すことができました。

差別解消のために、地域と学校が連携・協働しながら人権教育を推進していくことが望まれます。今後も、参加者同士が関わり合い、社会人権教育と学校人権教育がつながる研修の機会を提供していきます。



キラッ☆と笑顔 わくわく講座

教育支援センターや校内サポートルームに通う子供が、仲間と活動したり、一人でじっくりと活動したりする楽しさやよさを感じられるよう、指導主事が訪問し一緒に活動しました。

モルック、ボッチャなどのニュースポーツや、シャボン玉、ブーメラン作りなどを行いました。参加した子供の感想には、「水中で作るシャボン玉は、最初はうまくいかなかったけれど一度できると何回もできて楽しかったです。家でもやってみました」等がありました。来年度も子供が活動を通して、人との関わりを広げたり、自分自身の興味・関心を高めていくきっかけになったりする講座になるよう、共に取り組んでまいります。

